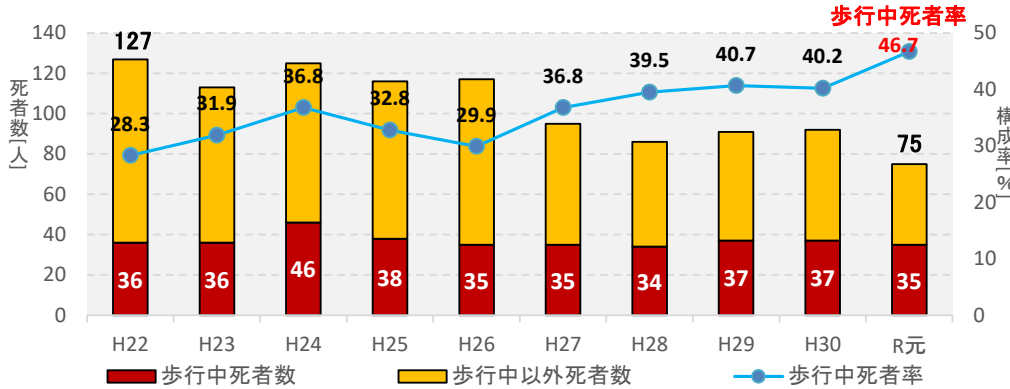


歩行者の交通事故防止

～歩行者事故ゼロを目指しましょう～



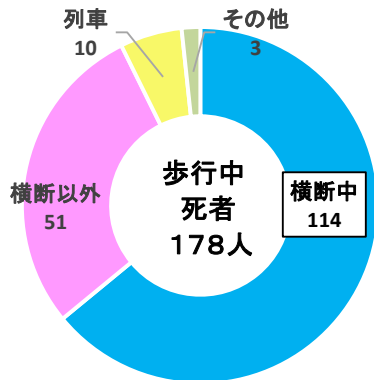
広島県内の交通事故死者数の推移（全死者・歩行中死者）



平成22年中と令和元年中を比較すると、全死者は127人から75人と約4割減少していますが、歩行中死者は36人から35人と横ばいに推移しています。歩行中死者の割合は、令和元年中が最も高くなっています。

歩行中死者の特徴（平成27年～令和元年の合計）

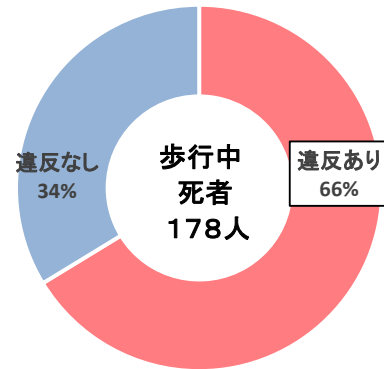
◎ 横断中の事故が多い



横断中事故死者の内…
・ 夜間 91人
・ 高齢者 91人
が亡くなっています。

夜間歩行中死者129人の内、反射材を着用していたのはわずか9人でした。

◎ 歩行者の半数以上に違反あり



- 道路横断中の事故が6割以上を占めています。
- 道路横断中の内、夜間に多発・高齢死者の割合が多いという特徴があります。

- 歩行中死者の6割以上に違反が見られます。
- 主な違反として、横断歩道外横断等の横断違反や信号無視の違反があります。

交通事故を起こさない、被害に遭わないために

～歩いて出かけるときは～

- 道路を横断するときは、左右をよく見て、車が近づいていないかどうか確かめましょう。
- 夜間外出するときは、明るい服装やLEDライト・反射材を活用するなどして自分の存在をアピールしましょう。

～車を運転する方は～

- 夜間は、視界が悪くなることから、歩行者等の発見が遅れたり、速度超過になりがちですので速度を落とすなど慎重な運転を心掛けましょう。
- 対向車や先行車がない場合は上向きライトを活用しましょう。



「みんなで行こう！歩行者事故ゼロプロジェクト」推進中

